

平成27年11月17日
情報発信G

野々市シャルソンに参加して

平成27年10月25日（日）、第2回野々市シャルソンに協働市民会議として10名のメンバーがグループで参加しました。

シャルソンとは、ソーシャル・マラソンの略で、新しい視点でまちを見たり、楽しい体験を探してまちを廻る、体験参加型の地域活性化イベントです。

参加者は、Facebook、ツイッターなどのSNS（ソーシャル・ネットワーク・システム）を使って、体験した情報を発信するとともに、他者の情報をも即時に共有できます。

マラソンのような決まったコースや時間制限などは無く、お店などに設けられた「給〇（きゅうまる）ポイント」で、他の参加者やお店の人と交流を図り、シャルソン中に集めた新しいまちの魅力や人の繋がりなどをアフターパーティ会場で総合的に共有して、更なる参加者同士の交流を深めます。

協働市民会議では、じょんからまつり、カメラまつりなどへの参加と同様に、「市民協働」をPRする機会として捉え、更に、同日開催の野々市の市とシャルソンを自ら繋げる工夫にチャレンジしました。

本町3丁目のオープニング会場に集合したメンバーは、会場最前列にお揃いのTシャツで陣取り、オープニングを彩りました。開会式では、実行委員長が所用のため協働市民会議のメンバーでもある小松さんが、急遽あいさつに立つハプニングも効果的となったようです。

また、オープニング会場前の民家の壁には、カメラまつりで子ども達が描いた「のいちキャンパスを描こう」の特大的絵を貼り出し、市民協働をPRしました。



メンバーは、概ね野々市の市のイベント会場を中心にシャルソンの給〇ポイントを回り、それぞれがFacebookで情報発信を楽しみ、アフターパーティには4名のメンバーが参加しました。

第2回 野々市シャルソン (Facebook イベントページ)

<https://www.facebook.com/events/2070551673083755/>



□□参加した絹川議長のコメント

昨日は第2回野々市シャルソンに参加し、協働市民会議メンバーと、楽しくシャルソンを行いました。市民、学生、企業、お店が集まり、100人を超える市民イベントでした。

街に出て、街のよいところを探しに行こう！マラソンのように、タイムを競うのではなく、ゆっくり歩いて街に触れよう。というのが目的です。

また、仲間作りもこのシャルソンの楽しいところ。金沢工大の学生さんや、小松市内から参加の主婦、長野安曇野から参加のシャルソンウーマンまで、たくさんの仲間ができました。

街を歩く、街に触れる、街の人と地元の事について話す、ことの大切さを改めて感じました。

□□検討課題

シャルソンは、市民協働のまちづくりに有効なイベントと考えており、次回には企画段から協働市民会議として関われる仕組みづくりを主催者に要望しています。